



# みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第36号  
熊本市立植木小学校  
令和6年10月10日  
校長 東田 昌樹

## 5年生の子どもたちが素晴らしかった集団宿泊教室

10月7日(月)～9日(水)に、5年生の子どもたちは菊池少年自然の家に行きました。子どもたちの成長とよいところがたくさん見られた2泊3日となりました。

「自立」と「共生」の力をさらに身につけました。

植木小学校の子どもたちの素晴らしさを知っていただきたいと思い、参加した職員で見かけた27個の子どもたちの行動を紹介します。



- 1 すれ違った時にあいさつをしなかった人がいたが、2日目、3日目と自分からあいさつをするようになった。
- 2 「次、何をしますか?」といちいち聞いていた人がいたが、自分でしおりの見たり、友達を相談したりして自分で見通しをもって行動できるようになった。
- 3 5分前行動が3日間を通してよくできた。特に、朝のつどいで5分前に集合できていることは素晴らしかった。
- 4 「モルック」というニュースポーツで、班の代表がじゃんけんする際も、平等に交代してやっていた班があった。
- 5 モルックで、班の友達がどのように投げるかを迷っているとき、「自分の判断でいいよ。失敗してもいいから」と声をかける人がいた。
- 6 ニュースポーツで、友達がうまくいかないときに「ドンマイ」という声かけを自然とできる人が多くいた。
- 7 ニュースポーツで負けたときに「負けたけどいい試合だった」と清々しく言える人がいた。
- 8 ニュースポーツの片づけをする際、指示された道具だけでなく、自分の判断で他の道具まで片付けている人がいた。
- 9 キャンドルの集いで、火の神、献詞者、エールマスターになった人たちは練習時間が30分だったが、恥ずかしがらずに堂々とセリフを言うことができた。
- 10 キャンドルの集いの第二部は、クラスごとに出し物を用意してきた。準備してきた人たちにしっかり応えて一緒に盛り上げようとしていた。
- 11 話を聞くべき時間にザワザワしていたとき、先生が注意しなくても「静かにしよう」という声かけができる人がいた。
- 12 上靴やトイレのスリッパを並べる意識が高まっていった。
- 13 食堂で「ごちそうさまでした」というだけでなく、自然と「美味しかったです」と付け加える人がいた。
- 14 自分たちが食べたテーブルだけでなく、他のテーブルの台ふきをしたり、他の場所の椅子入れをしたりしている人がいた。
- 15 登山でぬかるんだ道を恐る恐る歩いている友達に「ゆっくりいいよ」と声をかける人がいた。
- 16 ぬかるんだ山道で、動けなくなっている友達に、自然と手を貸して歩きやすくしている人がいた。
- 17 「ここは滑るよ」「ここは危ないよ」と、次に来る人たちに注意喚起の優しい伝言をする人たちがいた。
- 18 6kmのぬかるんだ山道の登山。参加した子どもたち全員が完歩した。
- 19 ヤマメのつかみ取りや、ナイフでさばくことが難しい人に対して、やってあげるのではなく、自分一人では難しいところを手伝う人がいた。ヘルプではなく、サポートができる人である。
- 20 ヤマメを食べて、食べかすで汚してしまった研修室を自主的に掃除した人が6人いた。
- 21 注意されたときに、「はい」「すみませんでした」と受け入れる素直な心を持っている人が多い。
- 22 朝の集いの段階で、荷物の片付けが完了し、大きなバッグはホールに運び、リュックは部屋の出口に揃えて置いている部屋があった。
- 23 布団やシーツをたたむ時、ペアでサポートしてやっている人が多くいた。
- 24 部屋の掃除を終えた後、廊下や階段まで掃除をしていた人が多くいた。
- 25 「次、〇〇さん」「〇〇さん、行くよ」「〇〇さん、すごい」と友達の名前を呼びながら、フライングディスクゴルフをグループで楽しんでいた。
- 26 先生や友達の自分へのちょっとした行動に、「ありがとうございます」という場面が増えた。
- 27 大きな怪我や病気がなく、3日間が過ごせた。就寝や活動中の自己管理がしっかりできた証拠である。